

令和2年度 さいたま市立木崎小学校 自己評価書

校長 逸見 修治

1 学校で設定した「令和2年度の目標」及び関係する「評価項目」について

○自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成

- ・すすんで考える子
- ・れいぎ正しい子
- ・がんばる元気な子
- (1) 「おもしろい」授業への挑戦
- (2) あいさつと笑顔のふれ合い（いじめ防止を含む）
- (3) 健康的な生活習慣づくり
- (4) 安心・安全で豊かな教育環境の整備
- (5) 家庭、地域と連携した「共育」の推進

2 評価結果について

- ・「授業は分かりやすく楽しい」を肯定的に答えた児童が91%、また、「子どもたちがわかりやすいように、授業を工夫して学習指導を行っている」という項目について、89%を超える保護者が肯定的な回答をしている。
- ・児童アンケートの「楽しく学校へ行っている」は92%、「友だちを大切に、仲良くしている」は98%を肯定的な意見がしめた。その一方、「子どもたちの悩み事やトラブル、保護者からの相談や要望に対して、親身になって対応している」の項目も85%が肯定的な意見がしめたが、昨年度より減少した。1月13日現在いじめの認知件数は1件となっている。
- ・全項目中保護者の「家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。また、各種たよりやホームページを通じて保護者・地域の方々に広く情報を公開している」が68%と最も肯定的な意見の割合が低かった。休校中の課題の配付などへの肯定的な声も聞かれたが、コロナ禍で来校が困難な状況での情報公開は不十分に感じられたようだ。
- ・今年度は学校公開が行えず、地域講師も呼ぶことができなかったため、該当の項目のアンケートを行わなかった。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- ・学年組織を生かしたを研修体制により、日々の授業に生かせる授業研究を目的として学校課題研修をさらに進めていく。
- ・学校行事だけでなく、普段の授業の様子などを学年だよりに掲載するとともに、情報教育部を中心にホームページの定期的な更新が行える体制を構築する。